

環境経営 レポート

事業年度 第55期

(2022年7月1日～2023年6月30日)

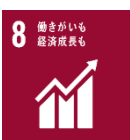
2022

目次

- 01.環境経営方針 P2
- 02.組織概要・実施体制 P3～P4
- 03.環境経営目標 P5
- 04.目標に対する実績・評価 P6
- 05.取り組み内容に対する評価 P7～P8
- 06.次年度の計画 P9
- 07.関連法規の遵守状況と代表者の全体評価と見直し・指示 P10
- 08.環境活動 P11～P12
- 09.再生可能エネルギー事業 P13



八洲管理株式会社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



- ・幅広い年齢層の雇用促進
- ・働きがいを見いだせるような安全安心な職場環境の整備
- ・資格取得補助等による人材育成の充実化



- ・清掃業を通じ、衛生的な生活環境を確保
- ・貯水槽清掃により、きれいで安全な水を提供
- ・ビルメンテナンス業で地域の建物の健康を守る



- ・環境に配慮した資機材の使用で環境負担を低減
- ・省エネルギー促進によりさらなるCO2削減を目指す
- ・太陽光発電により脱炭素社会へ貢献

1. 環境経営方針

八洲管理株式会社はビルメンテナンス事業の柱である清掃業務・設備管理業務及び警備業務において、全従業員が一丸となってエコアクション21の活動を通じて積極的に環境への取組を推進し、「安全で暮らしやすい」環境優先社会の実現に貢献する企業として存続・進化し続けます。

1. 環境負荷の低減と経営を両立させ、取り組みを通じ全従業員が自ら考え自ら行動する企業風土を醸成し、活動をスパイラルアップさせます。
2. 地球温暖化への対応のために、二酸化炭素排出量の削減に努めます。(電力消費量及び業務車両・機器燃料)
3. 循環型社会への対応のために、廃棄物発生量の削減及びリサイクルに努めます。
4. 衛生的な飲料水を提供するとともに、水資源を有効に活用するために、水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した製品を優先的に選定し、化学物質の削減に努めます。
6. 環境に配慮した省資源・省エネルギーを推進する提案商材を作ります。
7. 地域美化活動やボランティアに、積極的に参加します。また、効果的な情報発信で環境活動の輪を企業の枠を超えて広めます。
8. 環境関連法令、条例や規制等の要求事項を遵守し、社会の安定の維持のために環境保全に努めます。
9. 環境経営方針に関する教育を全社員に対して行います。

制定日：2018年11月30日

改定日：2020年07月01日

八洲管理株式会社
代表取締役社長 佐藤秀雄

2. 組織概要・実施体制

1. 会社名: 八洲管理株式会社
2. 代表者: 佐藤秀雄
3. 所在地(本社事務所): 広島市西区東観音町19-1
4. 環境管理:
 - (責任者) 設備管理課 高野 隆史
 - (担当者) 清掃サービス課 丸山 幸一

5. 主な業務内容:

01

清掃管理

日常清掃、病院清掃、定期清掃、床面清掃、ガラス清掃、空調清掃、高圧洗浄、エスカレーター清掃、オフィスチェア洗浄

02

設備管理

常駐設備管理、設備の法定点検・保守管理、電気設備、消防設備、建築設備、空調設備、搬送設備(昇降機)

03

環境衛生管理

貯水槽・ポンプ点検、空気環境測定、排水管高圧洗浄、害虫防除、排水槽清掃、グリストラップ清掃

04

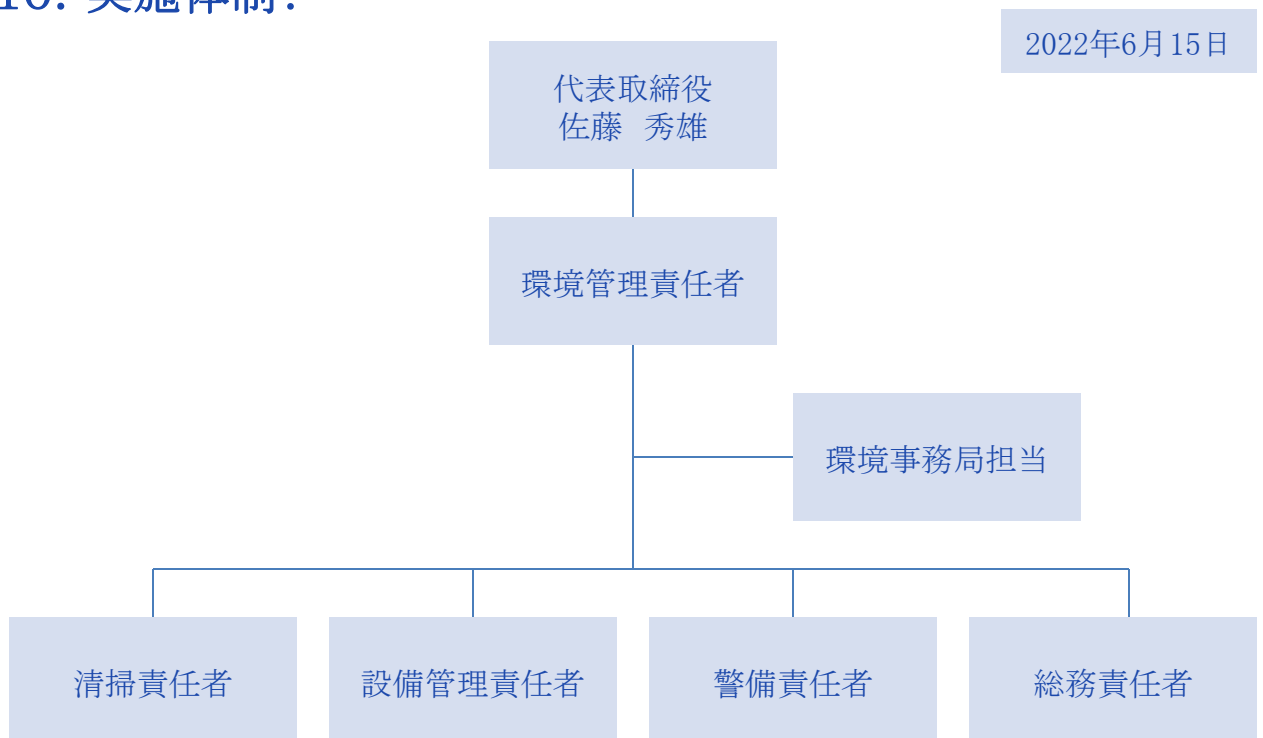
警備保安・受付

常駐警備、出入管理、受付業務・派遣業務、防犯カメラ

2. 組織概要・実施体制

6. 第55期 事業規模:
売上高 326百万円
従業員 69 人(常勤従業員数に換算した人数)
7. 第55期 事業期間:
2022年7月1日～2023年6月30日
8. 認証の対象組織・活動:
対象事業所 本社事務所
対象活動 全組織及び全活動を対象
9. 事業登録:
 - ・建築物環境衛生総合管理業(8号) 広島市17総 第81004号
 - ・建築物排水管清掃業(6号) 広島市17排 第61007号
 - ・建築物飲料水貯水槽清掃業(5号) 広島市1貯 第51060号
 - ・警備業(1号) 広島県公安委員会認定 第6号 第73000066号
 - ・人材派遣業 派34-300679(労働者派遣事業)

10. 実施体制:



3. 環境経営目標

基準に対する第55期及び第56期、第57期の環境経営の目標は下表のとおりに決定しました。近年の状況を踏まえ「電力使用量の削減」の目標設定をする際、第54期の実績を基準としました。

No.	基準となる実績		第55期 目標	第56期 目標	第57期 目標
1	二酸化炭素搬出量の削減		20,867kg-CO2	20,789kg-CO2	20,719kg-CO2
	20,950kg-CO2				
2	電力使用量の削減		8,090kWh	8,009kWh	7,929kWh
	第54期 実績	8,172kWh			
3	ガソリン使用量の削減		4,991L	4,986L	4,981L
	第53期 実績	5,002L			
4	軽油使用量の削減		1,415L	1,414L	1,413L
	第53期 実績	1,418L			
5	一般廃棄物の削減		320kg	315kg	310kg
	第52期 実績	330kg			
6	産業廃棄物の削減		30kg	30kg	30kg
	第51期 実績	34kg			
7	水道水使用量の削減		122m ³ 以下	122m ³ 以下	122m ³ 以下
	第50期 実績	122m ³			
8	化学物質使用量の削減		3kg	3kg	3kg
	第50期 実績	6kg (PRTR該当)			
9	グリーン商品購入の推進		100%	100%	100%
	第52期 実績	100%			
10	環境性能の向上・サービスの改善		2件	2件	2件
	第51期 実績	1件			
11	地域社会に向けた環境啓発活動		2件	2件	2件
	第50期 実績	2件			

注1:電気事業者別排出係数は、平成28年度実績中国電力調整後の0.694 kg-CO2/kWhを使用

注2:水については使用量自体が少量であり、削減が困難であるため現状維持を目標とする

4. 目標に対する実績・評価

環境経営の目標に対する実績と評価は下表の通りとなります。

No.	項目	第55期 目標	第55期 実績	評価
1	二酸化炭素搬出量の削減	20,867kg-CO2	22,711kg-CO2	×
2	電力使用量の削減	8,090kWh	8,890kWh	×
3	ガソリン使用量の削減	4,991L	5,807L	×
4	軽油使用量の削減	1,415L	1,184L	○
5	一般廃棄物の削減	320kg	523kg	×
6	産業廃棄物の削減	30kg	0kg	○
7	水道水使用量の削減	122m ³ 以下	96m ³ 以下	○
8	化学物質使用量の削減	3kg	5.2kg	×
9	グリーン商品購入の推進	100%	100%	○
10	環境性能の向上・サービスの改善	2件	1件	×
11	地域社会に向けた環境啓発活動	2件	2件	○

5. 取組内容に対する評価

環境経営の取組内容に対する評価は下表の通りとなります。

No.	取組内容	評価
1	<p><u>電力使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正管理 ・休憩時間の不要照明の消灯 ・コピー機の省エネ設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正管理 → 継続 ・サーキュレーターの設定 → 完了 ・休憩時間の不要照明の消灯 → 継続 ・コピー機の省エネ設定 → 完了 ・不要なアイドルストップ → 継続 ・急加速、急停車の防止 → 継続 ・効率的な移動 → 継続
2	<p><u>ガソリン・軽油使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不要なアイドルストップ ・急加速、急停車の防止 ・効率的な移動 	<p>【総括】今期は社員の増員、社有車の増加によりそれぞれ電力、ガソリンの使用量が増加した。前期実績と比較して電力で約9%、ガソリンで約8%の増加となり、軽油使用量が前期比で-5%CO2排出量では約6%の増加となった。だったが電力、ガソリンのCO2排出量がそれを上回る結果となった。これらを踏まえて今期実績を新たな基準とする。また、来期では古くなった軽油使用車をガソリン車に置き換える予定なので軽油使用量の大幅削減とガソリン使用量の増加が見込まれる。</p>
3	<p><u>廃棄物の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別によるリサイクルの推進 ・素材ボックスの設置 ・保管場所へ掲示板設置 ・ミスコピーの防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別によるリサイクルの推進 → 継続 ・素材ボックスの設置 → 完了 ・保管場所へ掲示板設置 → 完了 ・ミスコピーの防止 → 継続 <p>【総括】今期は作業服を新調したが、納品時の段ボールが大量に排出された。今後は納入業者へ段ボールは返却することとする。また清掃作業等で現場から持ち帰る可燃ごみは削減が難しいが、場合によっては客先での処分を検討したい。</p>
4	<p><u>水道水使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 ・清掃時、手洗い時の節水 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 → 継続 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 → 完了 ・清掃時、手洗い時の節水 → 継続 <p>【総括】水道水の使用量は+7%となった。社員増員により水使用量の増加は見込んでいたが、目標値内に収まった。引き続き節水の周知を図っていきたい。</p>

5. 取組内容に対する評価

環境経営の取組内容に対する評価は下表の通りとなります。

No.	取組内容	評価
5	<p>化学物質使用量の削減 環境に配慮した化学物質を選定する (PRTR法非該当物質)</p>	<p>剥離業務があると化学物質使用量が増加してしまいが、昨年に引き続きPRTR非該当製品を模索中である。客先の床材リニューアルの際にはノーワックスの床材の提案も視野に入れている。</p>
6	<p>グリーン商品購入の推進 事務用機器の購入時、グリーン購入法 対象機器を選定する。</p>	<p>事務用機器はグリーン購入品を選定した。</p>
7	<p>環境性能の向上・サービスの改善 環境に配慮した商品や製品(LED器具等)を 積極的に提案して省エネの推進を図る</p>	<p>客先のトイレ洗面台で、従来型の蛇口が出したままになっていることがあり、自動式水栓へ更新した。今期は環境配慮型サービスの提案へこれ1件にとどまった。</p>
8	<p>地域社会に向けた環境啓発活動 ごみゼロクリーンウォーク等への積極的な参加</p>	<p>2件の環境美化活動へ参加したほか、昨年に引き続きエコキャップ活動に参加、38.8kgのペットボトルキャップを集め、小児ポリオワクチン購入に貢献した。</p>

6. 次年度の計画内容

環境経営の取組内容を踏まえ、次年度の計画内容は下表の通りとなります。

No.	取組内容	次年度の計画内容
1	<u>電力使用量の削減</u> ・空調温度の適正管理 (冷房28℃暖房20℃) ・サーキュレーターの設置 ・不要照明の消灯	今期は事務所拡張による電気使用量の増加が想像以上だった。来期はこまめな消灯と健康に影響のない範囲での空調温度の調整を徹底し、抑制に努める。
2	<u>ガソリン・軽油使用量の削減</u> ・不要なアイドリングストップ ・急加速、急停車の防止 ・効率的な移動	来期は業務拡張・社員増加を予定しており、ガソリン使用量が増加する見込み。エコドライブの啓蒙と実践で可能な限り抑えたい。
3	<u>廃棄物の削減</u> ・分別によるリサイクルの推進 ・ミスコピーの防止 ・裏紙の使用 ・リサイクル率の向上	今期は特別清掃で排出された可燃ごみの量が多かったが、突発的な期間限定業務であったため、来期は今まで通りのごみ削減活動を継続していく。
4	<u>水道水使用量の削減</u> ・節水の周知徹底 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 ・清掃時、手洗い時の節水	トイレ改装により26%の水使用量削減が達成できた。手洗い、清掃時の節水を心がけるように新入社員へ周知を徹底する。
5	<u>化学物質使用量の削減</u> ・環境に配慮した化学物質を選定する(PRTR法非該当物質)	お客様指定のPRTR該当品も代替品へ切り替えが可能かどうか選定を継続する。
6	<u>グリーン商品の購入推進</u> ・事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。	引き続き、事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。
7	<u>環境性能の向上・サービスの改善</u> ・環境に配慮した商品や製品(LED器具等)を積極的に提案して省エネの推進	引き続き、お客様へ省エネ対応機器への取り換え工事や高圧洗浄サービス等を積極展開するとともに、来期はオフィス什器をクリーニングするリユース型の新サービスを展開する予定。また、各常駐現場で継続的に取り組みやすい省エネ活動にもお客様と協同で取り組んでいく。
8	<u>地域社会に向けた環境啓発活動</u> ・ごみゼロクリーンウォーク等への積極的な参加	ごみゼロクリーンウォーク以外の環境活動にも積極的に参加していく。

7. 関連法規の遵守状況と代表者の全体評価と見直し・指示

関連法規の遵守状況は以下の通りとなります。

■適用される主な環境関連法規制

廃棄物処理法・ビル管法・フロン排出抑制法・化学物質管理促進法 (PRTR法)

■遵守状況結果

主な環境関連法規等の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果として、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

■環境経営目標・計画の取組に関する評価

取組み全体については、十分とは言えないものの主要な環境活動は概ね予定通り実施できた。環境経営計画の達成状況は、従業員の増員に比例して増加し未達となった項目が複数あった。活動には改善の余地が残されており、来期は計画を達成するための施策の充実化を図るよう取組まれた。具体的には「ガソリン使用量の削減」「化学物質使用量の削減」「環境性能の向上・サービスの改善」の3項目に関する取組内容を充実なものにし、環境経営計画の達成を目指す。

■環境経営システムに関する評価

定期的な会議や社内への啓蒙活動を通じて、環境意識は年々高まっている。今期は業務拡大により新たな社員も増えたため、来期はキャリアの浅い社員を中心としたフォロー教育・訓練への注力を期待する。

■総括

地元広島では今年5月にG7サミットが開催され、地球規模で深刻化している気候変動、エネルギー、環境などの諸問題について各国の首脳間において活発に議論された。当社社内でもサミットの雰囲気を感じながら「自分たち出来ることから始めていこう」という機運の高まりが見られた。

今年を振り返ると、業務拡大によって様々な取組や活動を精力的且つ並行して行った一年であった。各部署内における取組やコミュニケーションが活性化され、企業としての総力が向上した。

一方、各部署から選出されたメンバーで組織されている環境事務局の活動については、部署内活動に比べると不十分な点もあったため、来期は実施体制を再構築し新たな活動を全社展開できるよう組織・運用の見直しを行う。

■各見直し・指示

環境経営方針: 変更・指示ともになし

環境経営目標: 変更・指示ともになし

環境活動計画: 目標値を2022年度の実績に基づき設定する

実施体制: 責任者を除き、事務局メンバーの見直しを行う

実施日: 2023年7月31日

八洲管理株式会社

代表取締役 佐藤 秀雄

8. 環境活動

地域ボランティア活動への積極的な参加

- 2022年8月7日 記念式典翌日の平和記念公園清掃に参加
毎年参加し、平和の祈りを込めて清掃活動を行いました。
- 2023年4月16日 広島市廃棄物処理事業協同組合主催のごみゼロウォークに参加
Gサミットに向け、広島を訪れる方々が心地良く過ごしていただける様、清掃活動を行いました。

活動写真1



活動写真2



環境に配慮したエコケミカル・レスケミカル作業の推進

- 水道水から強アルカリ電解水を生成できるZKプレミアムを導入
 - ・アルカリイオン電解水には、環境汚染物質が一切含まれない。
 - ・アルカリ分が残留しない為、すすきの必要がなく、洗浄時間の短縮・節水に繋がる。

ZKプレミアム



操作中



8. 環境活動

水道使用量の適切化

■ 給水設備の新品交換

お客様施設のトイレにて、利用者の水栓の閉め忘れが多く水道料金や省資源の観点から問題視されていました。老朽化によるバルブの緩みも考えられ、本体の新品交換を提案し、センサー式水栓へ取り替えました。問題解決及び水道使用量の適切化(節水)することができました。

取替前



取替後



ユニフォームを通じた循環型社会の取り組み

■ SDGsに貢献する循環型ワークウェアを採用

2022年7月に本社従業員が着用するユニフォームのリニューアルにあたり、服から服へのリサイクルシステム(BRING Material)を行っている対応製品を選定しました。

新ユニフォーム



9. 再生可能エネルギー事業

太陽光発電事業による環境貢献

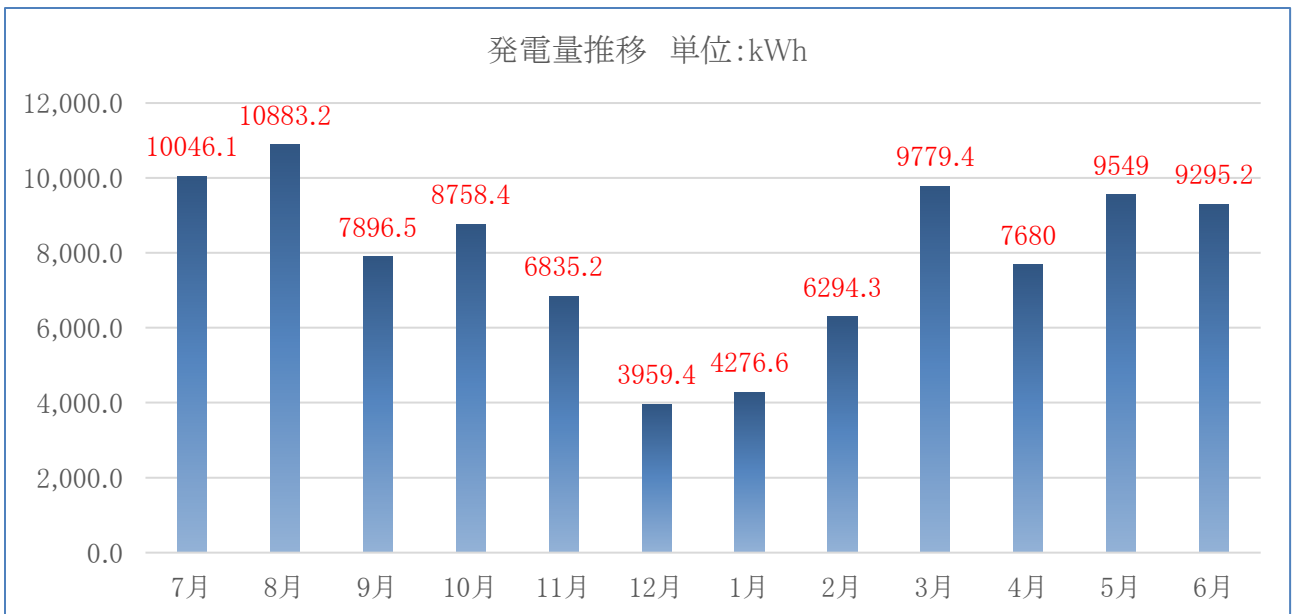
2017年に活動を始めたエコアクション21を通じ環境について会社全体で学び取り組む中で、「環境に良い事業をこの広島ではじめたい」と感じるようになり、2021年6月20日より安佐北区鈴張地区にて太陽光発電所(低圧)を建設、事業を開始しました。

現地写真



発電量推移

第55期の総発電量は95,253.3kWhでした。これを一般的な戸建の年間電気使用量(4,200kWh/年)で割ると、**22戸分の電力発電**した事になります。今年度は、阻害要因である積雪の処理を例年より早く実施しました。また、景観維持の為、草刈り機を新調し、雑草除去をより高い品質で迅速に行えるようになりました。



EcoAction 21

八洲管理は環境保全に配慮した企業活動で「環境にやさしい」企業を目指します。

引き続き、従業員・協力会社一丸となって「環境にやさしい」事業活動に取り組み、環境負荷低減はもとよりお客様へ環境を配慮したサービスを提供し、持続可能な社会の実現を目指します。

レポート作成者

環境管理責任者: 高野 隆史

環境事務局担当: 丸山 幸一

発行日

2023年7月31日